

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



# 宮小だより



令和6年7月19日号

発行:酒田市立宮野浦小学校

## 夏休みの過ごし方

25日で1学期が終了します。夏休み中も、今学期がんばったことを踏まえ、良かった点はさらに伸ばし、不足だったところを自分なりに課題意識を持って、日々の学習や生活に向かって欲しいと思います。留守番や子どもだけで過ごす時間が多くなり、お家の方にとっては心配事も絶えないでしょう。しかし、それは子どもたちの自律のチャンスでもあります。失敗もあるかもしれませんが、子どもにきちんと責任を取らせ、二度と失敗しないように、自分で生活の仕方や感情、社会的な規律の遵守などについてコントロールできるようにしていくことが大切です。公園の使い方、お金の貸し借り、水の事故の危険性など様々な情報が寄せられ、PTAとして休み前に情報を発信して改めて家庭での指導をお願いすることにしていきます。マイナスではなく大きなプラスになるように各家庭で話し合っただけであればと思います。

「行動には目的がある」という考え方が心理学にあります。意識的だろうが、もしかしたら無意識だろうが必ず行動の目的が存在するというのです。私たち大人はそういう子どもたちの行動に向き合わなければなりません。しかし、不適切な行動をしていない大多数の子どもたちにとっても、周りが騒然としていたり良くない行動に流されていたりしまったりしている環境では、当然落ち着いて学習したり生活したりすることが困難になります。ダメなものはダメときちんと教え叱ることも必要です。一方でそのように管理的に押さえつけるようなことでは、良い状況が継続しません。みんなで心地よさや素敵な姿を、自らがよい環境を創り出していくことが重要になります。どんな行動や姿が心地よいか、みんなに注目され褒められる行動かについて考え、気づけるようにシフトすることを学校では心がけています。

子どもたち自らが落ち着いた生活や学習の価値に気づき、自分の意志で生活を創り出していくことを願っています。子どもを育てる立場にある大人が、子どものダメなところを指摘し、禁止や命令の言葉を発するだけでなく、子ども自らがよい姿を目指して行動するよう働きかけ、考え学ぶことができるようにしていきましょう。

【アメリカ教育学者 ウィリアム・アーサーワードの言葉より】

汎用な教師はただしゃべる

The mediocre teacher tells

よい教師は説明する

The good teacher explains

優れた教師は自らやってみせる

The superior teacher demonstrates

しかし偉大な教師は心に火をつける

The great teacher inspires

校長

※学校だよりは児童を通しての配付を今号で最後とします。8月発行より学校ホームページ、宮野浦小学校ポータルサイトに掲載します。また連絡 mobi で発行したことをお知らせします。現在も学校ホームページ、ポータルサイトでは過去号を含めて閲覧可能です。